

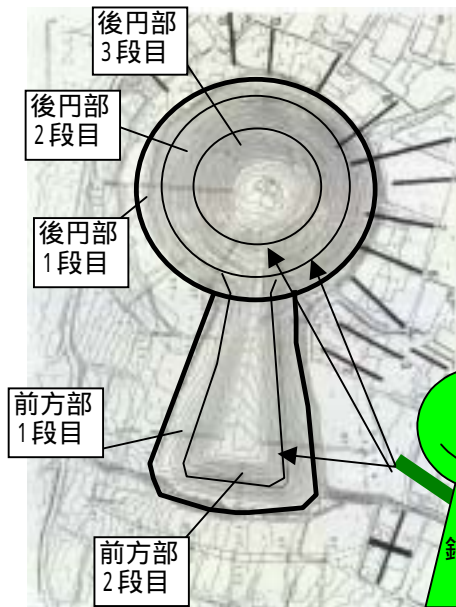
ちょうしづか新聞 第14号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2004年10月12日(火曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

埴輪(はにわ)ってどんな感じに並べてあったの？

銚子塚古墳の試掘調査が進むにつれて、出土する埴輪(はにわ)の破片数もだいぶ多くなってきました。今回は、そんな埴輪たちがもともとはどのように古墳に立て並べてあったのかを銚子くんに聞いてみましょう！！



やあ！僕、銚子くんだよ。みんな元気？台風や雨ばかりで困ったねえ。

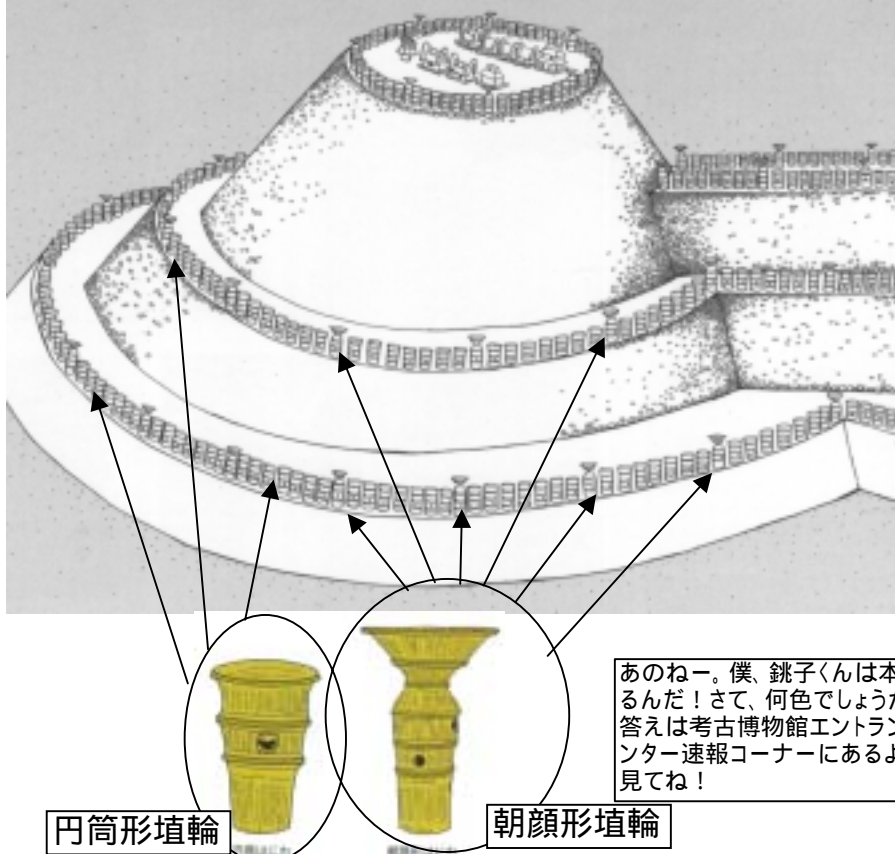
さて、今回は埴輪(はにわ)の並んでいた様子について知りたいんだね？

銚子塚古墳からは円筒埴輪や朝顔形埴輪や壺形埴輪が出土しているんだけど、そもそもどのように立て並べてあったのかは本当は良くわかっていないんだよ。

銚子塚古墳には以前の調査などの成果から、前方部(前の方の四角い部分)には段差が2段、後円部(後ろの方の円形の部分)には段差が3段あったらしいことがわかっているんだ。この段差になる部分にどうやら埴輪が立て並べてあったらしいんだな。

前方部や後円部の頂上部分(てっぺんの平坦な部分)にも埴輪が立て並べてあった可能性もあるけど、それはまだ不明なんだ。知りたいねえ！

白石稲荷山古墳(群馬県藤岡市)の復元イラスト



左のイラストは群馬県藤岡市というところにある「白石稲荷山古墳」という5世紀前半頃に造られた前方後円墳の復元イラストだよ。(5世紀前半ということは銚子塚古墳よりも少し新しい古墳ということだね)

墳丘にいくつかの段が造成されていて、その肩の部分に円筒埴輪や朝顔形埴輪が立て並べてあった様子がよくわかるね。よく注意してみると、たくさんの円筒埴輪のなかにいくつかの朝顔形埴輪が途中途中で立てられていた様子が見えるよ。

銚子塚古墳がこのとおりであったわけではないけど、似たような状態であった可能性もあるよ。

あのねー。僕、銚子くんは本当は「色」が付いているんだ！さて、何色でしょうか？

答えは考古博物館エントランスの埋蔵文化財センター速報コーナーにあるよ！特別展のついでに見てね！

銚子くん

【連絡先】山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)

〒400 1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055 266 3016 ファックス055 266 3882

e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

この「ちょうしづか新聞」にはフルカラーExcel版で作成しています。ご希望の方はメールでご連絡ください。